

# わが校の紹介

地域とともに歩む学校  
「自分で みんなで 力いっぱい」

養父市立浅野小学校

校長 中尾 公一

「桜の木に囲まれた  
恐竜たちや メタセコイヤ  
ムクロジ 銀杏の木  
自然に恵まれた  
私の自慢の学校  
この学校を 私はいつも  
誇りに思っています」

これは、今春卒業した子ども  
たちが、国語の詩の学習で「学校  
坂道」という歌を編詞した「自慢

の浅野小学校」の歌の一節です。

この歌のように、浅野小学校  
は桜に代表されますが、大小合  
わせておよそ100種類、30  
0本の木々に囲まれた学校です。  
明治の開校以来、長い歴史の  
中で一つひとつ積み重ねられて  
きた地域の大切な財産。子ども  
たちにも、「ごく自然のうちに「誇  
り」と思う心が育まれてきてい  
るのだと思っています。

また、動物ランドもその一つ  
です。子どもたちは毎日心を込  
めて動物たちの世話をしていま  
す。そして、休み時間や放課後  
には、エサをやったり抱いたり  
と、とてもかわいがっています。  
特に土・日曜日には、地域の  
方が優しい心づかいをされてい

ます。動物の種類と数は昔のよ  
うにはいきませんが、これらの  
活動とともに築かれてきた伝統  
を引き継ぎ、守り育てる大切な  
教育活動であると捉えています。

さらに、本校教育にとって欠  
くことのできない合い言葉（教  
育指標）があります。それは、  
「自分で みんなで 力いっぱい  
い」ということで  
す。この合い言葉  
は、変化の激しい  
時代にあっても、  
全ての教育活動に  
通ずる実に素晴ら  
しい指標です。

しかし、このこ  
とがいつから言わ  
れるようになった  
か



浅野の子どもたち。  
今後歴史と伝統  
を大切にし、保護  
者・地域・学校が心  
を合わせ、一体と  
なって、21世紀を担  
い生きる子どもた  
ちのために頑張っ  
ていきます。

## 窓 「自尊心を育てる」

不登校の子どもたちの自立を  
支援する「県立神出学園」とい  
う施設が神戸にあります。学園  
生支援に必要な対応として、ス  
タッフの方は次の点を心がけて  
います。

- ①拒否的・否定的対応を避ける  
「だめだね」「やめなさい」
- ②指示的・叱咤激励的対応を慎む  
「しなさい」「がんばれよ」「負けるなよ」
- ③評価的言動をしない  
「そんなのもできないのか」「そ  
んなの簡単さ」「そんなの誰だっ  
てできる」「君には無理だろう」  
「君にできるはずがない」
- ④できる、できないに関わる言  
葉を使わない  
「下手」「できが悪い」

## まちの文化財 ⑬

### 堀畑1号墳

養父地域のはさまじ峠付近は、  
6世紀から7世紀初めにかけて養  
父市を代表する有力者がいました。  
その証拠が堀畑1号墳と県指定文  
化財の観音塚古墳です。

この付近には、養父市を代表す  
る墳輪をもつ円墳が3基あります。  
6世紀に作られた観音塚古墳、上  
野1号墳、夕山1号墳です。

こうした勢力を引き継いで聖徳

太子の時代に作られた大型の古墳  
が堀畑1号墳です。この古墳を直  
接支えたのが谷間地古墳群（13基  
や南峠古墳群（15基）  
です。

堀畑1号墳は、はさ  
まじ峠の南側にあった  
兵庫県畜産試験場の敷  
地の中にあります。今  
年の5月から市教育委  
員会が古墳の発掘調査  
を実施しています。

古墳の規模は東西31  
㍎、南北32㍎、高さ6・



8㍎です。古墳の周囲には幅3㍎、  
深さ0・8㍎の溝が作られていま  
す。北側から見ると、溝底から2  
㍎ほど高い位  
置に幅2㍎ほ  
どのテラスが  
作られ、その上  
側と下側には  
石材が貼りめ  
ぐらされてい  
ます。

埋葬施設は、  
石を積み上げ  
て作った横穴

式石室で、全長が12㍎、内部の最  
大高は3・4㍎と推定しています。  
この石室は、但馬で第4位の規模  
をもつ但馬を代表する優れた石組  
み構造です。

聖徳太子の時代に、但馬最大の  
政治権力者が作った古墳が大数古  
墳群だと言われています。堀畑1  
号墳は、大数古墳群のトップクラ  
スの古墳と同じ規模と技術で作ら  
れています。堀畑1号墳に埋葬さ  
れた人物も、但馬最大のトップ  
リーダーだと考えて間違いありま  
せん。

（社会教育課）

「面白いややってみようよ」  
「面白いよやってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」  
「面白いややってみようよ」